## ●薬価基準収載医薬品(2022.6.8)-新医薬品-

## 【3成分5品目】

内用薬

収載日	薬効分類名	商品名	規格 単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能·効果	用法·用量	備考([作用機序]、[承認条件]等)
6/8	HIVインテグラーゼ	ボカブリア錠30mg	30mg	3,541.60	製造販売元/	カボテグラビル	HIV-1感染症	リルピビリン塩酸塩との併用において、通常、成人には1回1	希少疾病用医薬品
	阻害剤		1錠		ヴィーブヘルスケ ア 販売元/グラク ソ・スミスクライン	ナトリウム		l .	(ピーク時の予測投与患者数:2,400人/年)。 [作用機序] 本剤は、レトロウイルスの複製に必要な酵素であるHIVイン テグラーゼの活性部位に結合してその活性を阻害し、ウイル スDNAの宿主DNAへの組込みを抑制する。 [承認条件]全症例対象の製造販売後調査の実施。

## 注射薬

収載日	薬効分類名	商品名	規格 単位	薬価(円)	会社名	成分名	効能·効果	用法·用量	備考([作用機序]、[承認条件]等)
1 '	I	ボカブリア水懸筋注 400mg ボカブリア水懸筋注 600mg	400mg 2mL 1瓶 600mg 3mL 1瓶	176,458 253,850	ヴィーブヘルスケ ア 販売元/グラク ソ・スミスクライン	カボテグラビル	HIV-1感染症	〈1ヵ月間隔投与〉 リルピピリンとの併用において、通常、成人にはカボテグラビルとして600mgを臀部筋肉内に投与する。以降は、400mgを1ヵ月に1回、臀部筋肉内に投与する。 〈2ヵ月間隔投与〉 リルピビリンとの併用において、通常、成人にはカボテグラビルとして600mgを臀部筋肉内に投与する。本剤初回投与1ヵ月後に600mgを臀部筋肉内に投与し、以降は	[作用機序] 本剤は、レトロウイルスの複製に必要な酵素であるHIVイン テグラーゼの活性部位に結合してその活性を阻害し、ウイル
6/8	持効性抗ウイルス 化学療法剤 [非 ヌクレオシド系逆 転写酵素阻害剤 (NNRTI)]	リカムビス水懸筋注 600mg リカムビス水懸筋注 900mg	600mg 2mL 1瓶 900mg 3mL 1瓶	·	製造販売元/ヤンセンファーマ販売元/グラクソ・スミスクライン提携先/ヴィーブヘルスケア	リルピビリン	HIV-1感染症	600mgを2ヵ月に1回、臀部筋肉内に投与する。  〈1ヵ月間隔投与〉 カボテグラビルとの併用において、通常、成人にはリルピビリンとして900mgを臀部筋肉内に投与する。以降は600mgを1ヵ月に1回、臀部筋肉内に投与する。 〈2ヵ月間隔投与〉 カボテグラビルとの併用において、通常、成人にはリルピビリンとして900mgを臀部筋肉内に投与する。本剤初回投与1ヵ月後に900mgを臀部筋肉内に投与し、以降は900mgを2ヵ月に1回、臀部筋肉内に投与する。	本剤は、ジアリルピリミジン骨格を有し、HIV-1に作用する NNRTIであり、HIV-1逆転写酵素(RT)を非競合的に阻